

2021年9月15日



米ドル建農林債（グリーンボンド）の発行の決定について



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登）は、今般、以下のとおり、米ドル建農林債(以下「本債券」)を海外市場においてグリーンボンドとして発行することを決定しましたので、お知らせいたします。

農林債とは、当金庫の資金調達のために、「農林中央金庫法」に基づいて発行が認められた債券を指します。本債券の発行は、当金庫の外貨調達基盤をより強固にすることを旨とし、当金庫のお客様ならびに会員の皆様への一層安定した機能・サービス提供に貢献する取組みとなります。

本債券は、再生可能エネルギー事業など環境改善に資する事業（以下「適格グリーンプロジェクト」）への投融資に資金用途を限定したグリーンボンドとして発行するもので、当金庫にとり初めてのグリーンボンド発行となります。また、発行の決定に先立ちグリーンボンドフレームワークを策定し、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則2021」に準拠している旨の意見書を外部の評価機関から取得しました。

グリーンボンドの発行、およびその調達資金による投融資を通じ、本年度より策定した当金庫の中長期目標を一層前進させることを期待しており、これらを通じて持続可能な環境や社会の実現に貢献してまいります。

【当金庫のグリーンボンド発行概要】

発行体	農林中央金庫
通貨	米ドル建て
発行金額	10億米ドル（5年、10年各5億米ドル）
発行日	2021年9月22日 （条件決定日：2021年9月14日）
年限	5年（償還期限：2026年9月22日） 10年（償還期限：2031年9月22日）
資金用途	一定の要件を満たす適格グリーンプロジェクト に対するファイナンス
利率	5年 1.284% 10年 2.080%
上場証券取引所	シンガポール証券取引所（SGX）
第三者認証機関	Sustainalytics

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 TEL 03-5222-2017

(報道関係者の皆様) 宮澤・後藤

(投資関係者の皆様) 寺西・富永

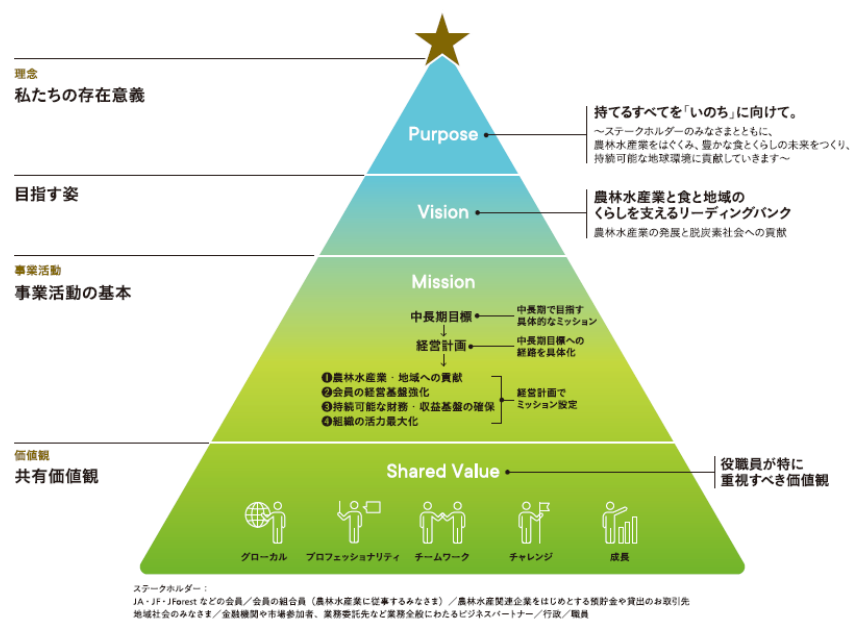
本件は、当金庫の証券発行に関して一般に公表することのみを目的とするものであり、日本国内外を問わず投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。なお、本件においては日本国内又は米国内における本証券の公募は行われません。本件は、日本、米国その他の国における証券の勧誘を構成するものではありません。本証券は、金融商品取引法、1933年米国証券法その他いかなる適用ある証券関連法令に従って届出又は登録がなされたものでも、また今後届出又は登録がなされるものでもありません。日本およびその他の法域においても、金融商品取引法、1933年米国証券法その他適用ある証券関連法令に基づいて証券の届出若しくは登録が求められる場合には、これを行うか又は届出若しくは登録の免除を受ける場合を除き、本証券の勧誘又は販売を行うことはできません。

(参考資料) 農林中央金庫の目指す姿、中長期目標について

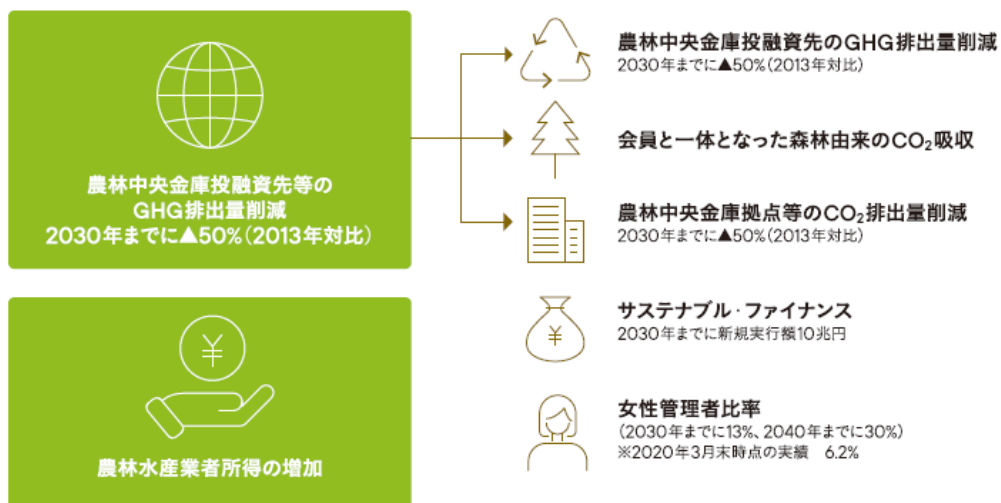
当金庫は2017年に『持てるすべてを「いのち」に向けて。』をコーポレートブランドステートメントに定め、当金庫のビジネスが農林水産業の営みによる「いのち」や自然の循環とともにあることを踏まえ、業務を実践してまいりました。2019年度からは、農林水産業や地域の持続可能性にビジネスを通じて貢献することを目指し、「サステナブル経営」に取り組んでおります。

足元の新型コロナウイルス感染拡大により農林水産業や食農バリューチェーンが大きな打撃をうけるとともに、気候変動をはじめとする環境問題や様々な社会問題が浮き彫りとなり、課題解決に向けた一層の貢献が求められています。

こうしたなか、当金庫は、持続可能な環境や社会のために未来に向けてどのような貢献をしていくのかという自らの「存在意義」、およびその発揮に向けた「目指す姿」を整理するとともに、それらの実現のための「中長期目標」を定めました。



農林中央金庫の中長期目標



中長期目標のうち、「サステナブル・ファイナンス」については、下記の投融資および資金調達を行います。
今回のグリーンボンド発行は、「サステナブルに関連する資金調達」に該当するものです。

【当金庫のサステナブル・ファイナンス】

■ 投融資

- ・「サステナビリティ・リンク・ローン」、「グリーン・ローン」、「ソーシャル・ローン」、「サステナビリティ・ローン」
- ・ESG に関する認証取得先への投融資および認証が付与された投融資
- ・その他環境・社会課題解決に貢献する投融資

■ 調達

- ・サステナブルに関連する資金調達

以 上